

(地独) 青森県産業技術センター水産総合研究所
青森県 青森地方水産業改良普及所
むつ水産事務所
水産振興課
青森市水産振興センター

ホタテガイ採苗速報

西湾と東湾の一部で大規模産卵

令和2年2月20日、21日に湾内8地点で養殖2年貝の成熟度調査を、2月19日、20日に東湾2地点で地まき貝の成熟度調査を、2月25日に湾内9地点でラーバ予備調査を行ったので、その結果をお知らせします。

1 ホタテガイ成熟度調査結果

養殖2年貝の生殖巣指数は、西湾平均で20.4、東湾平均で19.9と前回それぞれ24.3、22.6より低下し、西湾と東湾の野辺地町で大規模な産卵が始まりました(図1~2)。

異常貝率は、西湾平均50.8%、東湾平均18.3%と平成5~31年の同時期の平均値それぞれ8.8%、2.5%よりもかなり高い状況です。なお、この異常貝率にはサンカクフジツボの付着による割合(西湾平均7.5%、東湾平均10.0%)が含まれます。各地の測定結果は表1のとおりです。

地まき貝の生殖巣指数は18.4と前回19.4とほぼ同じで、異常貝率は1.7%でした(図3)。各地の測定結果は表2のとおりです。

表1 垂下養殖2年貝の測定結果(調査基準日 2月20日)

調査地点	調査日	殻長 (cm)	全重量 (g)	軟体部重量(g)	軟体部指数	生殖巣重量(g)	生殖巣指数	異常貝率 (%)
蓬田村	2月21日	11.0	138.6	45.7	32.8	10.5	22.7 [23.9]	83.3【0.0】(11.8)
青森市奥内	2月20日	10.7	141.6	45.5	32.0	8.6	18.5 [27.1]	16.7【3.3】(6.4)
久栗坂実験漁場	2月20日	12.2	208.5	89.0	42.6	18.9	21.0 [24.4]	20.0【13.3】(9.6)
平内町茂浦	2月21日	9.8	104.9	41.7	39.6	8.1	19.3 [22.0]	83.3【13.3】(6.5)
西湾平均		10.9	148.4	55.5	36.8	11.5	20.4 [24.3]	50.8【7.5】(8.8)
野辺地町	2月20日	10.4	125.9	57.0	45.2	10.9	18.9 [24.8]	46.7【40.0】(0.9)
むつ市	2月21日	9.9	109.5	48.4	44.3	9.5	21.4 [20.9]	23.3【0.0】(4.3)
川内町	2月20日	9.9	84.8	37.8	44.5	7.3	19.2 [19.6]	3.3【0.0】(2.5)
川内実験漁場	2月20日	11.2	150.3	73.2	48.7	14.4	19.9 [24.9]	0.0 (2.8)
東湾平均		10.4	117.6	54.1	45.7	10.5	19.9 [22.6]	18.3【10.0】(2.5)
全湾平均		10.6	133.0	54.8	41.2	11.0	20.1 [23.4]	34.6【8.7】(5.9)

[]: 前回の値
(): H5-H31の平均値
【】: サンカクフジツボによる異常貝率

表2 地まき貝の測定結果(調査基準日 2月20日)

調査地点	調査日	殻長 (cm)	全重量 (g)	軟体部重量(g)	軟体部指数	生殖巣重量(g)	生殖巣指数	異常貝率 (%)
むつ市	2月20日	10.3	124.6	50.6	40.7	9.2	18.3 [20.1]	0.0 (2.0)
むつ市川内町	2月19日	10.4	107.1	42.1	39.3	7.8	18.5 [18.8]	3.3【0.0】(0.8)
東湾平均		10.4	115.8	46.3	40.0	8.5	18.4 [19.4]	1.7【0.0】(1.4)

[]: 前回の値
(): H5-H31の平均値
【】: サンカクフジツボによる異常貝率

2 海況

各ブイの2月19日~25日の週別平均水温は表3のとおりです。15m層の2月第5半旬平均水温は、平館ブイではなはだ高め、青森ブイ、東湾ブイでかなり高めとなっています。

表3 各ブイの1週間(2/19~2/25)の日平均水温

観測地点	水温(°C)	観測地点	水温(°C)	観測地点	水温(°C)
平館ブイ	9.6 ~ 9.8	東田沢ブイ	-	浜奥内ブイ	-
蓬田ブイ	8.9 ~ 9.1	清水川ブイ	6.9 ~ 7.1	川内ブイ	5.3 ~ 5.4
奥内ブイ	-	野辺地ブイ	6.2 ~ 6.3	脇野沢ブイ	-
青森ブイ	7.9 ~ 7.9	東湾ブイ	5.8 ~ 5.9		
浦田ブイ	-	横浜ブイ	5.5 ~ 5.6		

-: メンテナンス中

3 ホタテガイ等ラーバ予備調査

ホタテガイのラーバは、西湾平均で124個/m³、東湾平均で692個/m³でした(図4~6)。

ムラサキガイとキヌマトイガイのラーバ出現数は、全湾平均でそれぞれ81個/m³、83個/m³でした(図7、8)。

4 今後の見込み

西湾と東湾の一部で大規模な産卵が始まりました。今後、水温の昇温刺激があると現在停滞している東湾の地区でも大規模産卵が始まります。また、水温も高めのまま推移するとラーバの成長が早まり、採苗器投入が3月下旬から4月上旬になる可能性があるため、採苗器および施設の準備を進めてください。

なお、小型のウミセミが多く見られる地区では、目合1.5~2分の袋の採苗器は使わないようにしましょう。

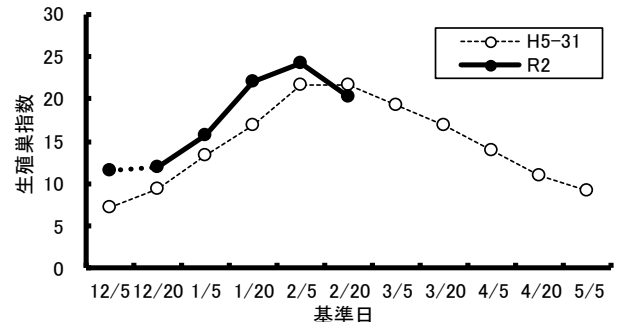


図1 養殖2年貝の生殖巣指数の推移(西湾平均)

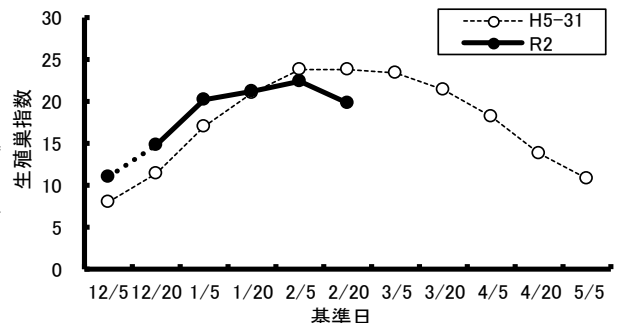


図2 養殖2年貝の生殖巣指数の推移(東湾平均)

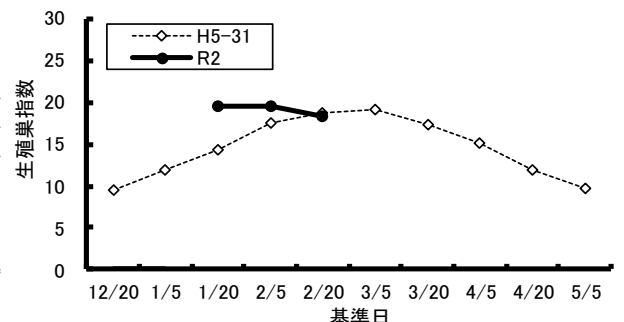


図3 地まき貝の生殖巣指数の推移(東湾平均)

※12月5日は実験漁場のデータのみのため、破線とした

広がる海の知識! 漁業後継者育成研修『賣陽塾』
身につける新たな技術! 漁業後継者育成研修『賣陽塾』
塾生募集中!! 詳しくは水産総合研究所 ほとて貝部まで



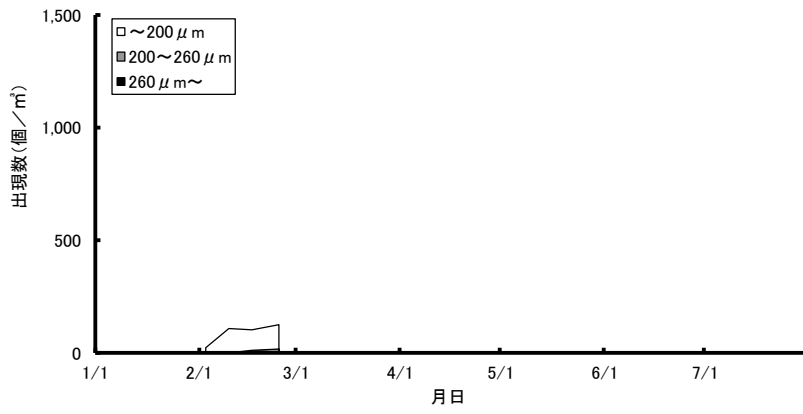


図4 西湾におけるホタテガイラーバ出現数

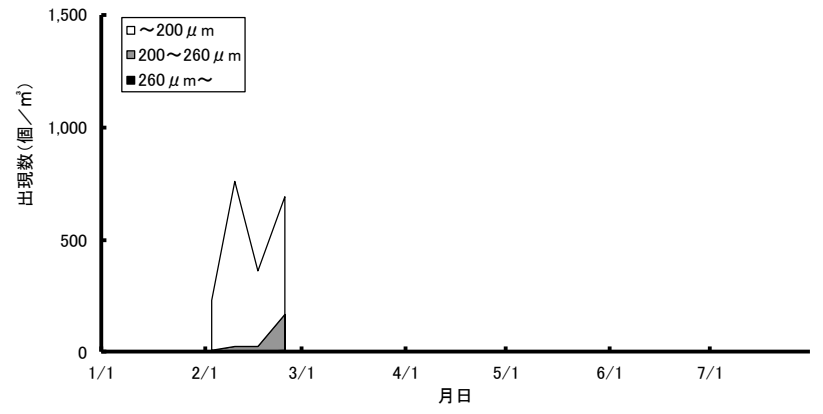


図5 東湾におけるホタテガイラーバ出現数



図6 調査地点別におけるホタテガイラーバの平均出現数 (個/m³)

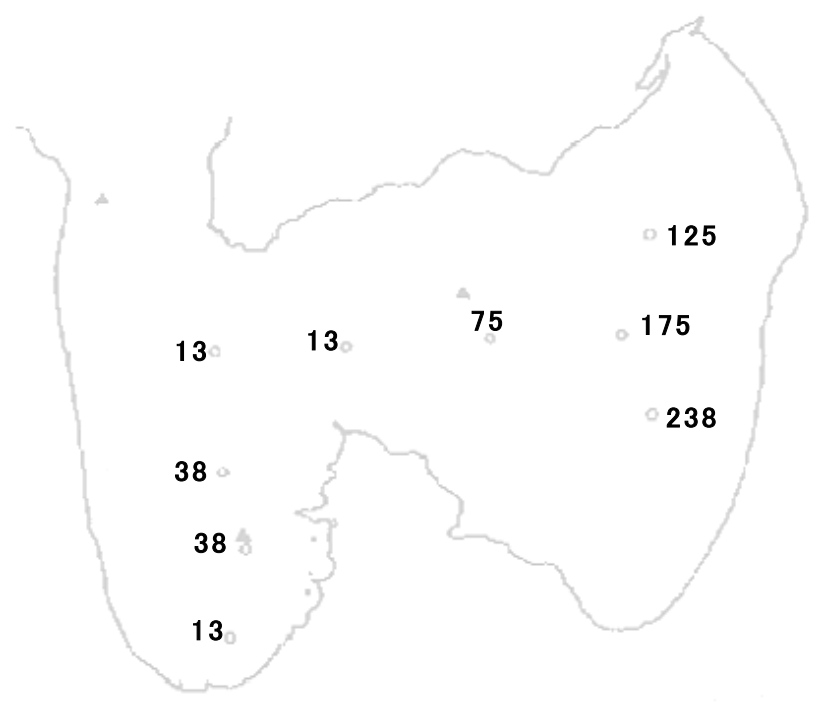


図7 調査地点別におけるムラサキイガイラーバの平均出現数 (個/m³)

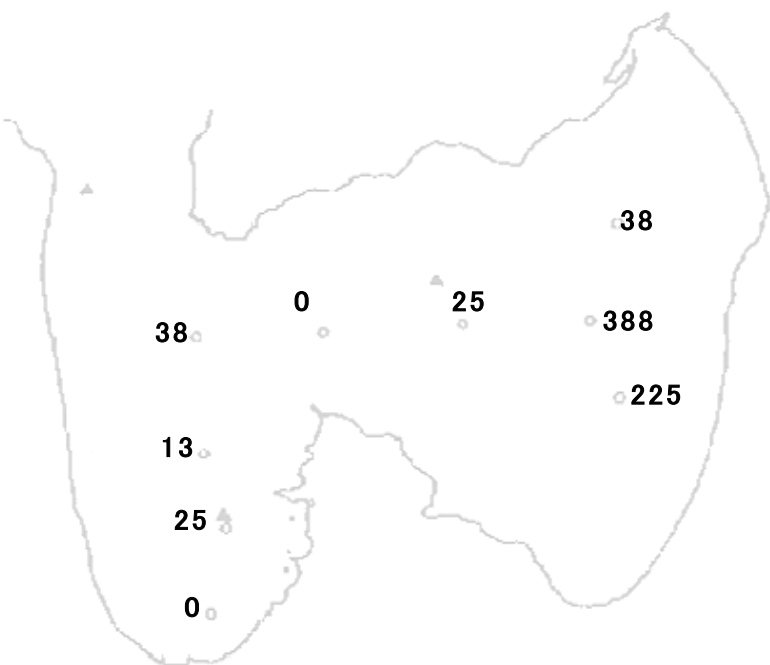


図8 調査地点別におけるキヌマトイガイラーバの平均出現数 (個/m³)